

「未来高岡」ステップアップトーク（佐野地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 9 月 5 日（月） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 佐野公民館

3、出席者 市民 56 名（うち女性 15 名）

高岡市

市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1)高岡市総合計画基本構想の紹介

(2)参加者との意見交換

参加者

- ・ものづくりデザイン科の授業を受けた子どもたちが市内で工芸体験を続けようとしても、大人数になると受け入れてくれる施設がない。他市には大人数でも受け入れられる施設があるので、高岡市にもそのような施設を作ってほしい。

市長

- ・ものづくり体験の活動は広げていきたいと思っているので、市で紹介できる施設等があればサポートしていきたい。高岡地域地場産業センターであれば 30 人ほどは受け入れることができる。金屋町では「鋳物師町工房（仮称）」という、若い職人を集めた体験型施設を整備する計画があり、戸出の銅器団地でも体験や見学ができる工場ができる予定である。また、体験という観点から言えば、町家に泊まったり、民宿に滞在しながら農業体験ができるというプログラムを作っており、移住・定住といった点からも取り組みを進めていきたい。

参加者

- ・佐野公民館の 2 階調理室には、配水管が 2 本しかないため、大量に調理をするとすぐ詰まってしまう。

市長

- ・公民館の数も多く対応については難しい面もあるが、施設の状況を見ながら、必要性等を勘案していきたい。

参加者

- ・佐野公民館は築 35 年以上で、施設・設備が老朽化していることから、少しでも早く建て直してほしい。

市長

- ・現在、公共施設は市内に約 440 施設あるが、人口減少が進む中、今後どのような水準で公共施設を維持管理していくかが課題であり、30～40 年先を見据えた長期的な計画も必要となってくる。また、高齢化社会という点からも検討しなければならない。施設のあり方については、建て直しだけではなく、施設の統合・長寿命化といった点からも検討していきたい。市立公民館については、多くが同時期に建設されたことから、老朽化の問題も同時期に出てきている。既存の施設については、できるだけ修繕等をしながら維持管理をしていきたい。

参加者

- ・他市には中高一貫校があるが、高岡市にはそのような計画はないのか。高岡市にも中高一貫校を作ってほしい。

市長

- ・中高一貫校については、様々な面から検証しなければならない。新しい環境に慣れるのが得意でない子どもにとっては良いかもしれないが、片方では、同じ生徒同士で 6 年間ずっと学校生活を過ごすことがよいのかという課題もある。小中一貫校という例もあるが、その場合も同様の課題がある。子どもによって得意な環境は異なるので、学力の点等からもよく検討し、様々な選択肢を用意していくことが必要ではないかと考えている。

参加者

- ・少子化のため生徒数が減少している学校も多いが、学校再編についてはどう考えているのか。

市長

- ・学校再編については、調査を行い意見を聞いているところであるが、五位中学校下では、具体的に小学校再編の検討が進んでいる。市内のまちなかも、生徒数が減少しているので順次再編を検討していきたい。市民の皆様には学校再編への理解をお願いしたい。